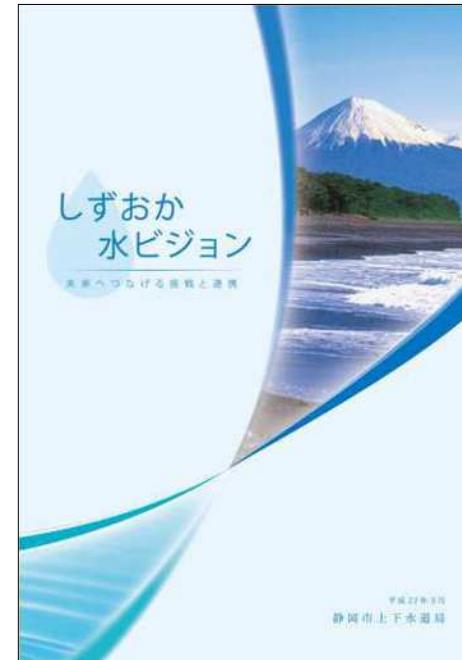
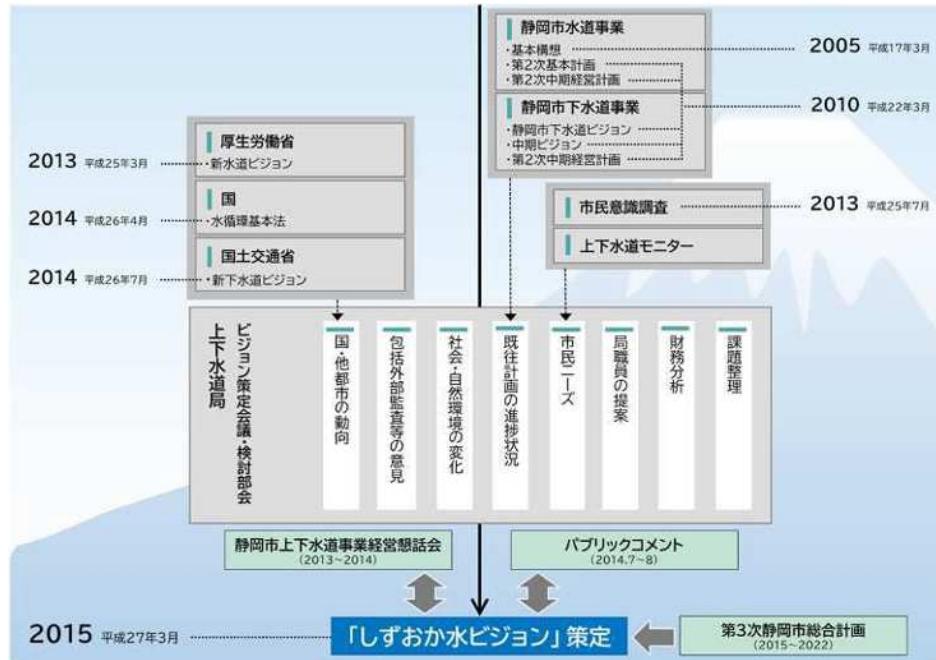


«しづおか水ビジョンとは»



『しづおか水ビジョン』は、社会的背景、国の動向、市民ニーズなどを参考に、2015年に策定しました(※1)。これは、上下水道事業が一体となって長期的に目指す姿を示すものであるとともに、市民の皆さんへの約束として位置付けているものです。

『しづおか水ビジョン』は、将来を見通した基本構想と、基本構想の実現に向けて定めた『経営戦略』、具体的な事務事業を示した『中期経営計画』で構成されています。

(※1) 2015(平成27)年3月に策定した後、2023(令和5)年3月に改訂しています。



«しづおか水ビジョン改訂の契機»

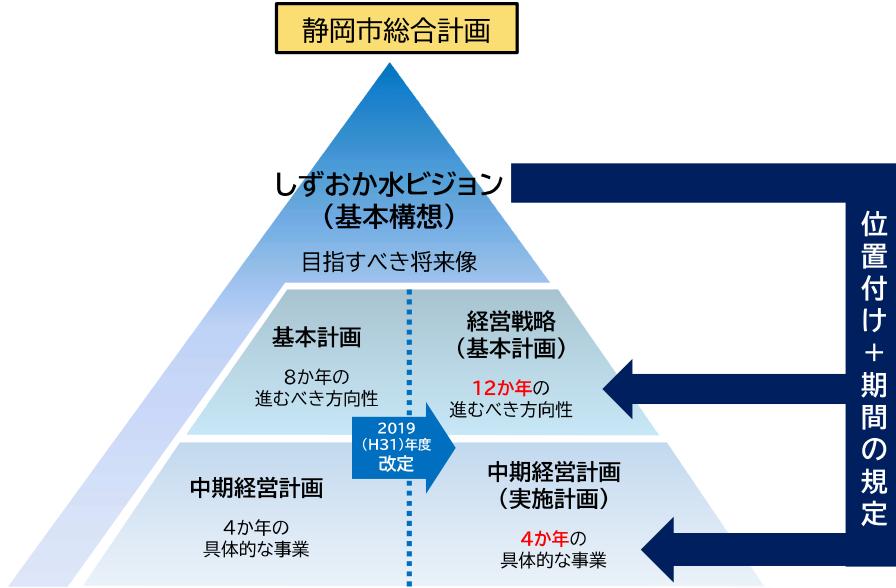
年 度	2015 (H27)	2019 (H31)	2023 (R5)	2025 (R7)	2027 (R9)	2031 (R13)	2035 (R17)
静岡市総合計画		第3次静岡市総合計画：8か年			第4次静岡市総合計画：8か年		
経営戦略		基本計画：8か年 →			経営戦略：12か年(4年ごとに計画期間をスライドさせる改定) 経営戦略：12か年(4年ごとに計画期間をスライドさせる改定)		次期の経営戦略 ずれ？

今年度、『しづおか水ビジョン(経営戦略)』の上位計画である
『静岡市総合計画』について、期間を含めた見直しが急ピッチで進められています。

『経営戦略(及び中期経営計画)』は、『静岡市総合計画』の期間との整合を図るため、
 計画の策定や改定に当たっては、「4か年ごと」の単位で行ってきましたが、
今回の『静岡市総合計画』の見直しにより、期間のずれが生じる恐れがあります。



«しづおか水ビジョンの現状と課題»



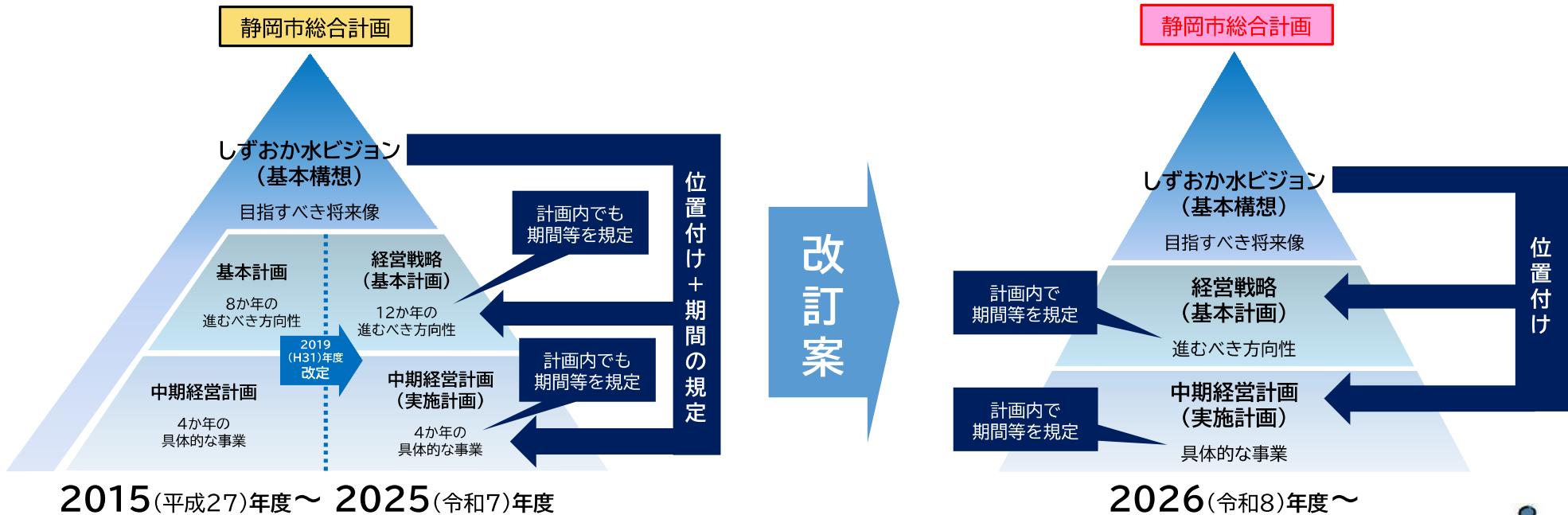
現在の『しづおか水ビジョン』は、『経営戦略(及び中期経営計画)』を内包する形となっており、
第1章で『経営戦略(及び中期経営計画)』の位置付け・期間を規定するとともに、
第5章で『経営戦略』の改定時期^(※2)を規定しているため、『経営戦略(及び中期経営計画)』は、
『静岡市総合計画』の見直しに伴う柔軟な改定が難しい状況であると言えます。

また、『しづおか水ビジョン』には**2015年(平成27年)策定当時の状況に基づく記述**がありますが、
2025年現在では状況が変化している部分があるため、見直しを行うべきだと言えます。

(※2)『経営戦略』について、「4年毎に計画期間をスライドさせる改定を行います。」としています。



«しづおか水ビジョンの改訂内容»



1. 現在に引き続き、「(静岡市の上下水道事業が一体となって)目指すべき将来像」を掲げるものとします。
2. 『経営戦略(及び中期経営計画)』については、位置付けのみ規定し、期間の規定をなくします^(※3)。これに伴い、『経営戦略(及び中期経営計画)』を『しづおか水ビジョン』から分離・独立させます。
3. 策定期から状況が変わっている内容について、必要に応じて見直しを行います。

(※3)『経営戦略(及び中期経営計画)』の期間や改定期については、現在に引き続き、それぞれの計画内において規定します。

